

生き物 カレンダー

9月、10月、11月
に見られる代表的な
生き物を月ごとに昆
虫、植物、野鳥の
順に並べています。



エンマコオロギ (9月)
バッタの原でよく見られる。
コオロギの中で一番大きく
「リーリー」と声がよく響く。



ススキ (9月)
秋の七草のひとつ。バッタの
原や十字路で見られる。



ツツドリ (9月)
毛虫が好きで、観察の森では
コムラサキの丘やコブナの流
れのサクラにいることがある。



アキアカネ (10月)
アカトンボの仲間。原っぱで
は季節により空一面に広がる
程の数が集まる。



ノコギリク (10月)
十字路で見られる。ノコギリク以外
にもカントウヨメナ、シラヤマギク
など多くのキクの仲間が見られる。



キビタキ (10月)
コブナの流れのイヌザンショウ
の実を食べる。オオルリやコサ
メビタキなども来る事がある。



ルリタテハ (11月)
成虫で冬越しをする。普段は見
られないが、暖かい日には日光
浴をしに原っぱ等に出てくる。



イロハモミジ (11月)
葉が赤色に染まる。ネイチャー
センター前やカッパ沼の東屋
前で見られる。



カケス (11月)
ヒグラシの林にいる事が多い。
鳴き声は「ジェー」とわかり
やすいが、姿は見つけづらい。

木育担当の「木になる」おもちゃ

「手動きっころ送り機」

2019年5月に登場したからくりおもちゃ。取っ手を
回し「ザッザッザッ」という心地よい音を聞きながら、
木の玉「きっころ」がスムーズに動いていくところを見
ると「すごーい！」と思った方、たくさんいますよね？
製作者は工房「童」若林孝典さん(岡山県美作市)カウ
ンター周辺に以前あった「手動ビー玉送り機」を拡大し
て「きっころ」を転がせる大きさにしてもらいました。
製作をお願いしたところ、「きっころ」の考案者伊藤英二
先生と昔同じ団体で活動をして、お知り合いだったとの
こと。なつかしがつて意欲を湧かし製作に取り組んでい

ただけました。ビー玉のようにきれいな球体ではない玉をな
めらかに転がるようにすることが大変だったようです。木育
ひろばにあるおもちゃで、他には「プッシュホン」を製作さ
れています。若林さんは自分のお子さんが「ミシンはどうやっ
て動いているの？」と疑問を抱いたとき、仕組みを実際にわ
かりやすく作って見せて喜ばれたようです。それから機械な
どが互いに関連して動く仕組み「機構」
の面白さを子どもたちに伝えたいとの
思いがあるので、今後も新たな木のお
もちゃがひろばに登場するかもしれま
せん。期待して待っていてくださいね。



生き物ぴっくあっぷ

バッタの原の生き物紹介 ～オオカマキリの巻～

晩秋の野原で、枯れ枝に産み付けられた卵を見
つけた事はありませんか？

日本最大のオオカマキリのメ
ス(体長約10cm)が産んだ
卵で、卵囊(らんとう)と言
います。



ここで問題です！この「卵のう」の中には
卵が何個産み付けられているでしょうか？

- ① およそ 2個
- ② およそ 20個
- ③ およそ200個

正解は③番。秋、オオカマキリのメスは腹部の
先を動かして先に出てきた粘液に空気を混ぜて
泡状の「卵のう」を作りながら中に卵を産んで
いきます。

泡が乾くとスポンジのようになり、雨や冬の寒さ
から卵を守ります。そして春になると、そこから
たくさんのお虫が産まれてきます。

この春、私は大失敗をしてしまいました。鳥にお
そわれたカマキリの「卵のう」(食糧が少ない
冬は、鳥も口ばしでつついて中の卵を食べます)
皆さんに見てもらった後、カバンに入れたまま、
すっかり忘れていました。5月後半、何かの気配
を感じて目を凝らしてみると・・・1cm程の幼虫を
15匹、壁にカーテンに発見！全ての卵が捕食さ
れたのではなかったのです。生き残って孵化した
やわらかい体をつぶさないように、救出しました。

カマキリは不完全変態で、蛹にはならず脱皮を繰
り返して体を大きくしていきます。

春から6回脱皮をし、夏に最期の7回目の脱皮で、
やっと大きな羽を持つ大人のカマキリになります。
カマキリは、自分の体の大きさに合わせて狩りを
します。セミ、バッタ、クモ、カエル、トカゲ、

ミミズなどを捕食し、動いているものに反応しま
すが、動かないものには見向き
もしません。大きな成虫は、ス
ズメバチやオニヤンマ、ヘビや、
小さな鳥も狩ります。秋に見ら
れるメスは、産卵のためにお腹
が卵でいっぱいにくっついていま
す。



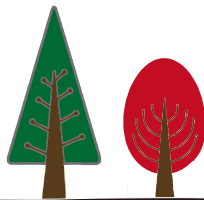
春に約200個程の卵から産まれた幼虫のうち生
存競争を生きぬき、無事に成虫になれるのは2
匹～3匹と言われています。

野原で大きなオス、メスに出会ったら卵が産める
ようにそっと見守ってくださいね。

*観察の森ではオオカマキリの他に
ハラビロカマキリ、コカマキリ、チョウセンカマ
キリが観察できます。「卵のう」の形が、それぞれ
違うので比べてみると面白いですよ。
(文/自然解説員 金久)



秋のイベント情報



牛久自然観察の森
季刊情報誌



森のしんぶん

秋号 No280

絵本の読みきかせ会 森でランチ

10/11(金) 11/8(金)

広い野はらでお弁当を食べて絵本を楽しみましょう。季節の自然の紹介と手遊び、わらべ歌で遊びましょう。

時間：正午～午後1時
対象：幼児とその保護者
参加費：無料
集合場所：バッタの原
持ち物：お弁当、飲み物
申込み：申込み不要、当日受付
備考：雨天時中止



赤ちゃん対象 赤ちゃん木育広場

10/28(月) 休園日特別開催

はじめて木育ひろばうっしっしを体験される方を対象に木のおもちゃのレクチャーと笑顔の家族写真撮影会を行います。

開催時間：午前10時～11時
対象：6カ月以上の乳児とその保護者
参加費：大人1人300円
定員：10組
集合場所：ネイチャーセンター木育広場
申し込み：10/1からお電話にて予約受付



昆虫イベントはこちら♪

家族昆虫教室 9/14(土)

バッタやアカトンボ等の秋に見られる昆虫を探しにいきます。見分け方や特徴など専門的知識を詳しくご説明いたします。

開催時間：午前9時30分～10時15分
対象：3歳以上の家族
参加費：1家族500円
定員：10組
集合場所：ネイチャーセンター前
持ちもの：虫取り網、虫かご
申し込み：申込み不要、当日受付
備考：雨天時中止



終了しました

幼児昆虫教室 9/23(祝) 10/5(祝) 11/3(祝)

親子で昆虫の不思議さや生き物と触れ合う楽しさを体験しよう。秋の主演は草原の『バッタ』です♪

開催時間：午前9時30分～10時15分
対象：3歳～6歳の未就学児とその保護者
参加費：幼児1人につき300円（保護者の方は無料）
定員：10組
集合場所：ネイチャーセンター前
持ちもの：虫取り網、虫かご
申し込み：申込み不要、当日受付
備考：雨天時中止



コクワガタ飼育教室

10/13(日)又は14(祝・月)

初めての方でも飼育しやすいコクワガタを幼虫から成虫まで育てます。朽木から幼虫を見つけたり、産みつけられた痕跡等を観察します。長期飼育を通じて、コクワガタの生態を学びましょう。

時間：午前9時～10時30分
対象：5歳以上の幼児、小学生とその保護者

参加費：1組2、500円
[幼虫2匹と、成虫になるまでに必要な簡易容器(菌糸ボトル)を含む]

定員：各回8組
申し込み：電話にて事前予約
(参加希望の日にちをお伝え下さい。)



満員御礼

野鳥の方はこちら

バードウォッチング

10/20(日) 11/17(日)

園内と園外の田んぼと小野川沿いの約3キロの多様なコースを歩きます。秋、野鳥達の渡りの季節の到来です!!

時間：午前9時～10時30分
対象：一般
参加費：無料
集合場所：正門前
備考：双眼鏡の無料貸出有り
雨天、強風時は中止
協力：牛久とりの会
申込：不要、当日受付。

ミニイベントのご案内

土・日・祝には、様々なミニイベントを開催しております。魚のエサやりや生き物のシルエットクイズ、ネイチャーセンター周辺の生き物をご案内するガイドツアー等。参加費は無料で、どなたでもご参加可能ですので、来園時にはぜひご参加下さい。

